

さつきやま魂

崎山中学校だより
1月10日 第16号
文責 校長 山下



あけましておめでとぅございませす

2020年、令和2年、オリンピックキヤーがスタートし、一年間の総まとめの3学期が始まりました。
2学期終業式の時に、冬休みに向けて三つをお願いをしました。冬休み期間中実践できたでしょうか。一番大事な全員が元気に登校できたことは何より嬉しく思いました。また、子どもたちは、家族の一員としての役割をきちんと果たせたでしょうか。そしてもう一つ、新年を迎えるにあたり、「本気の志」を立てることはできましたか。またの人も必ず目標を設定し、達成させるための最大限の努力をしてほしいと思います。



第3学期 スタート!

今日の始業式では、1年竹野優花さん、2年野口心太郎君、3年片山利久君が、3学期の決意を堂々と述べてくれました。特に、片山君は、三年間の集大成として、さつきやま魂の実践を掲げ、自主、友愛、錬磨、勤労について、それぞれに具体的な行動目標を発表しました。卒業に向けて、さらに成長したいという思いを強く感じることができました。
私からは、一年間の総仕上げの学期であるという3学期の特質と2学期末の学校評価を踏まえ、「さつきやま魂を継承しつることに貢献する青年の育成」という学校目標達成を目指し、具体的に大きく二つのことをお願いしました。一つ目は、「進んで挨拶する」ということです。さつきやま魂の一丁目一番地であり、社会人としての挨拶の大切さを踏まえ、気持ちのよい挨拶を心掛けてほしいことを伝えました。二つ目は、「それぞれの学年で必要な学力を身に付けて卒業・進級する」ということです。授業が最も大切ですが、授業内容をより理解するための家庭学習、特に、自主学習に力を入れ、確かな学力を身に付けて、卒業・進級することを願います。
私たち教職員も、感動の卒業式・修了式を迎えられるように全力でサポートしていきます。今年もどうぞよろしく願います。

第3学期学級委員

始業式後に3学期の学級委員任命式が行われました。いよいよ令和元年度最後の学期です。それぞれの学年の学級目標達成を目指し、学級をしっかりとリードしてくれることを期待しています。各学年の学級委員は次の人たちです。

- 1年 堀 翔馬
- 2年 野口心太郎
- 3年 片山 利久



おんのほね(鬼火たき)

1月7日午前6時30分から、崎山小学校グラウンドで、育成協主催のおんのほね(鬼火たき)が行われました。早朝からの実施にも関わらず、ほとんどの生徒が参加しました。記録を調べたところ、平成24年に崎中で実施して以来、8年ぶりに行われたようです。鬼火で餅を焼いていたときながら、地域の方と共に今年一年の無病息災を祈りました。生徒たちは、最後の消火作業や後片付けまで手伝ってくれました。



へトマト参加について

1月19日にへトマトが実施されます。子どもたちは昨年度から学校行事として参加しています。男子は午前中に白浜神社の準備を手伝い、午後からへトマト行事へ参加。女子は午前中豚汁を作り、午後からは白浜神社で豚汁を振る舞う予定です。



【へトマトの思い出】

平成21年1月、私は初めてへトマトに参加した。と言っか、五島に住んでいながら初めてへトマトを生で見た。それから四年連続で参加した。最初に参加した年は、朝から激寒で、時折あられや雷、雪が降っていた。奉納相撲が始まると雷も鳴り出し豪雨となるなど、すさまじい天気になった。「大丈夫だろうか。」と心配になり、地域の方に聞くと、「毎年このような天気だから大丈夫」という答えだった。その後、玉蹴り綱引き、大草履に参加すると、身も心も熱くなったのを覚えている。
二年目、気温が0度ぐらいでやはり寒かった。この年は、日本の祭りとして、ダイドードリンコがへトマト祭りを1時間番組として放送した(HPにも記録があります)。子どもたちはCMにも出演した。国の重要無形民俗文化財として、全国的にも注目されている祭りのであることを改めて実感した。